

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	おう 王 せい 静
(研究テーマ名) 東アジア諸都市における茶文化の相互交流	
(研究活動実績) 一、【研究活動】 平成 25 年度においては、主に中国、台湾、日本という東アジア地域の諸都市における茶文化交流について検討し、次のふたつの点から取りまとめた。 第一に、1980 年以降の日本において中国茶が受容された要因を分析した。とくに日常的な健康茶飲料と高級茶文化の並存現象に注目し、今後の東アジア茶文化交流の在り方を検討する上でヒントを探った。現在論文にまとめつつあるが、完成稿は平成 26 年 4 月に中国国際茶文化研究会の機関誌に投稿する予定である。 第二に、1980 年代後期に始まった台湾と中国との茶文化交流が中国における「中国茶芸の復興」をもたらし、それまでの「茶を飲む」という日常的な行為が「文化化」され、それと同時に、茶文化がナショナリズムと結合する方向へ導かれるプロセスを考察した。これについては博士論文の一章分にあてるべく論述を完成させた。 二、【研究成果】 研究会報告 ① 「フードツーリズムと文化創造」、フードツーリズム研究会（大阪観光大学）、2013 年 8 月 19 日	